



【長期的目標】

社会の中で、自己の豊かな能力や個性を実現させながら、社会を支える人材を育てる

大田区教育大綱・おおた教育ビジョン
大田区教育委員会の教育目標の要旨
・基礎学力を習得する
・豊かな情操と公共の精神を養う
・健やかな身体を育む
・心豊かに生活できる地域社会を実現する教育
・人権教育の推進
・確かな学力

<児童の現状>
○元気よく遊ぶ ○人なつこく、仲間思い
○素直 ○優しい ○試行錯誤する熱意
<課題>○基本的生活習慣の定着(挨拶・忘れ物・時間厳守・公共物を大事に)
○自己肯定感の向上 ○家庭学習の習慣化
○自主性、主体性の向上

具体的な教師像
・公務員・組織人としての使命感と責務を自覚し、サービスの厳正に努める教職員
・教育に対する熱意と使命感をもつ教職員
・豊かな人間性と思いやりがある教職員
・実践的な指導力がある教職員
・専門性を高めるために研鑽を積む教職員

いつでも、どこでも、チャレンジする子 **学びあう**

自己の将来を見据え、自ら進んで学び続ける児童の育成

- ・一人一人の課題に応じて、知識・技能を活用する力、思考力、判断力、学習意欲の伸長
- ・各教科の基盤である言語能力を育成
- ・表現力・伝える力の向上を推進

<地域の特質>
○歴史と伝統があり、学校への愛着がある
○学校のボランティア活動等に協力的である
○継続して、子どもや学校を支えている

<危機管理の徹底>
教育課程管理 施設設備管理 予算会計管理 情報管理 安全防災管理 校内校外児童管理

<学校の課題>
【学習】
○子どもの学力と学びの質の向上
○子供の自主性や主体性を育む教育活動
○自尊感情と自己有用感の醸成
○規範意識の向上

知恵と創造で未来を切り開く
論理的・科学的に思考し、新たに考えを創造することができる

ずっと、なかよし、やさしい子 **助けあう**

高い規範意識をもち、自ら考えながら適切な判断をすることができる

- ・生活規律の徹底
- ・相互信頼の精神の育成と人権教育の推進
- ・自他の違いを認め、仲間として生きる態度を養う行事、班活動、清掃活動の実施
- ・近隣中学校との小中一貫教育を通して、きめ細かい生活指導、キャリア教育の実施

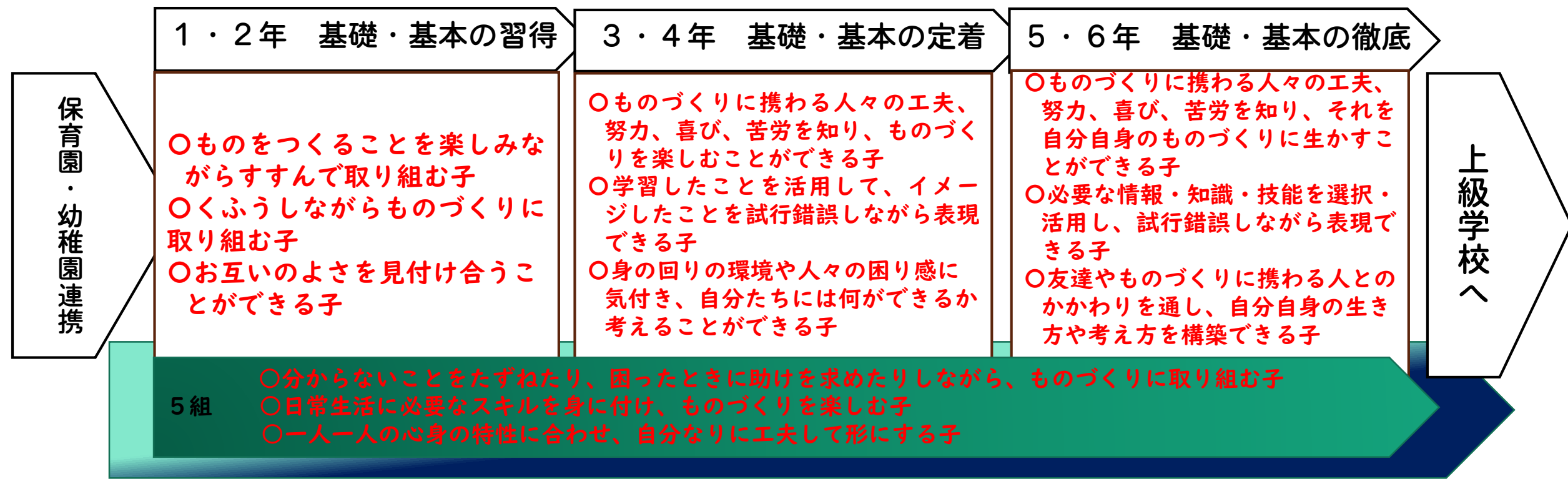
もりもり、わくわく、きたえる子 **高めあう**

実践力をもち、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける

- ・重点指導事項により、体力を向上させ運動に親しむ態度を養う機会を定期的に日常的に設定する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進
- ・体力向上プログラムの活用
- ・家庭とともに、運動習慣、生活習慣づくり

<学校の課題>
【学校組織】
○カリキュラム・マネジメントの実施
○教職員の経営参画意識を高めるシステムづくり
○ICTの活用、英語、特別支援教育、体力向上等への取組
○施設、教材・教具の適切な管理と活用
○地域の中の学校としての役割等

目指す学校像
○ 「ものづくり」に熱中できる子 (試行錯誤)
○ 納得解を見付けることができる子 (よりよい社会)
○ ONE TEAMで取り組むことができる子 (協働、表現、発信)



<経営の重点>コロナ禍に配慮
(1) 基礎学力の定着を図る授業改善・工夫
○各種学力に関する調査結果分析・考察
○指導方法工夫改善加配教員による習熟度別少人数指導
(2) 組織の活性化と円滑な学校運営
・校務を整理し、ミドルアップダウン体制による組織運営を目指す
・各部署の機能と責任の明確化
(3) 児童の安全確保
・事故防止体制の確立と危機管理マニュアルに基づいた組織的な取組
(4) 学校経営計画に基づいた適切な予算編成と執行
・必要性、緊急性、優勢性を考慮した予算執行
・予算執行状況等で執行状況を把握
(5) 家庭・地域との連携
・社会に開かれた教育課程の編成
・学校情報の提供
・教育活動への協力と参加
・外部・関係者評価を生かした教育活動
・関係機関との連携強化
(6) 教育公務員としての自覚と誇り
・サービスの厳正
・使命感と責務の自覚

<実務・実的な組織と学校運営の改善・工夫>コロナ禍に配慮
【研究テーマ】大田区教育委員会 (R4・5・6年度) 教育実践校
未来を創る力の育成—未来ものづくり教育を通して—
○仮称「未来ものづくりコミュニケーション科(ものづくり教育)」に特化した教育課程の編成
○地域人材・地域環境を生かした学習
・STEAM教育として、商品(製品)開発・イノベーション・地域課題・プログラミング教育・科学SDGs等
○論理的な思考を高める
・系統的・継続的な言語技術の育成
○科学的な思考を高める
・東大CASTによる科学(化学等)実験
・IZUMO SCIENCE SHOW(月1回全校朝会)教員
○学習習慣の基盤づくりの推進と定着
・家庭とともに生活リズムカードで生活、学習習慣を定着
・自己点検票による授業改善(毎週末)
・ICT研修やOJT研修の実施

<指導の重点>コロナ禍に配慮
【基礎的・基本的は学力の定着】
○学習規律の徹底 ○授業時数の確保
○ICT機器の活用 ○言語技術の育成
○指導システムの活用(習熟度別少人数指導、教科担任制、ステップ学習)
○平日補習、土曜日補習教室(年6回)
○学習カルテに基づく学習定着状況の把握
○家庭学習の支援 ○検定等への参加
○主体的・対話的で深い学びの実現
○体験的な学習や問題解決学習の工夫
○特別支援教育の充実 ○地域に学ぶ学習の展開(フィールドワーク、HIC、町工場)

<指導の重点>コロナ禍に配慮
【豊かな社会性・人間性の育成】
○生活規律の徹底
○あいさつ運動月間
・主体的な自立的活動の推進:
あいさつニコニコ隊
○生活基本調査
○こどもの心のサポート月間
○相互信頼の精神の育成と人権教育の推進
○近隣中学校との小中一貫教育を通して、きめ細かい生活指導、キャリアノートを活用したキャリア教育の実施
○縦割班清掃、縦割班遊び、きょうだい班活動(5組)
○いずもオリンピックの実施
○家庭、地域、関係機関との連携強化
○地域人材の活用
【体力の向上、健康の保持増進】
○オリンピック・パラリンピック教育
○体育科授業の充実
○体力テストの分析
○運動習慣の定着
○独自の取組「一校一取組」「一学級一取組」
○健康教育の充実
○食育
○アレルギー対応

<地域教育連絡協議会>
【地域教育連絡協議会】
【スクールサポート出雲(学校地域支援本部)】
<PTA>子どもたちの健やかな成長のために、教育活動への理解と協力・支援